

令和2年度 横須賀市観光振興推進委員会 開催要旨

日 時 : 令和2年(2020年)11月11日(水)

場 所 : 横須賀市役所 消防庁舎 第2会議室

○ 観光立市推進に向けた取り組み及び方向性について

- ・ 多くの観光コンテンツが横須賀には揃っている。まずは、横須賀観光の現状として、コンテンツごとの観光客の属性や動きなどを把握する必要がある。その後、ターゲットを設定した上で、取り組むことも重要である。
- ・ 男性の観光客が多いという傾向があるが、取り組みの内容やエリアなどによって、男女比率は異なってくるであろう。引き続き、男性に好まれる取り組みを実施するとともに、女性やファミリーなどをターゲットとしたものも行い、横須賀観光の可能性を高めてほしい。
- ・ 現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出や会食の自粛を余儀なくされる中、旅行者の意識も変わりつつある。そのような状況の中、メッセージ性のある取り組みを行うことが有効である。例えば、横須賀安全宣言と銘打って、観光客に、現在取り組んでいるコロナ対策や、横須賀独自で取り組む対策のポイントなどをアピールできると良い。

- ・ 観光関連事業者の経営力向上を図る取り組みなどを行い、市内の事業者が観光産業に参入しやすくなるものも検討すると良い。
- ・ 来訪者が宿泊したいと思えるような取り組みを行うことで、観光滞在期間を延ばしていかなければならない。例えば、横須賀ならではの早朝と夜の楽しみを創ることも検討していただきたい。
- ・ 横須賀ならではの浦賀や久里浜などの歴史を活用した取り組みも重要である。例えば、修学旅行に着目した取り組みも有効であるので、検討していただきたい。
- ・ コロナ禍における拡大するマイクロツーリズム需要を取り込むために、地元を楽しめるような取り組みを行うことも、視野に入れていかなければならない。
- ・ 観光周遊を促進するためには、エリアごとに情報発信の拠点があることが有効である。また、拠点性を高めるには、行政だけではなく、誰もが発信の担い手になれる仕掛けを創ることも重要である。
- ・ 他市にはない独自性をもった取り組みを行い、集客を図らなければならない。そのためには、近代の歴史や自然などといった、横須賀の強みを活かしていかなければならない。
- ・ 賑わいがある商店街は観光客を喜ばせる。そのため、商店街と連携し、観光周遊の促進を図っていただきたい。